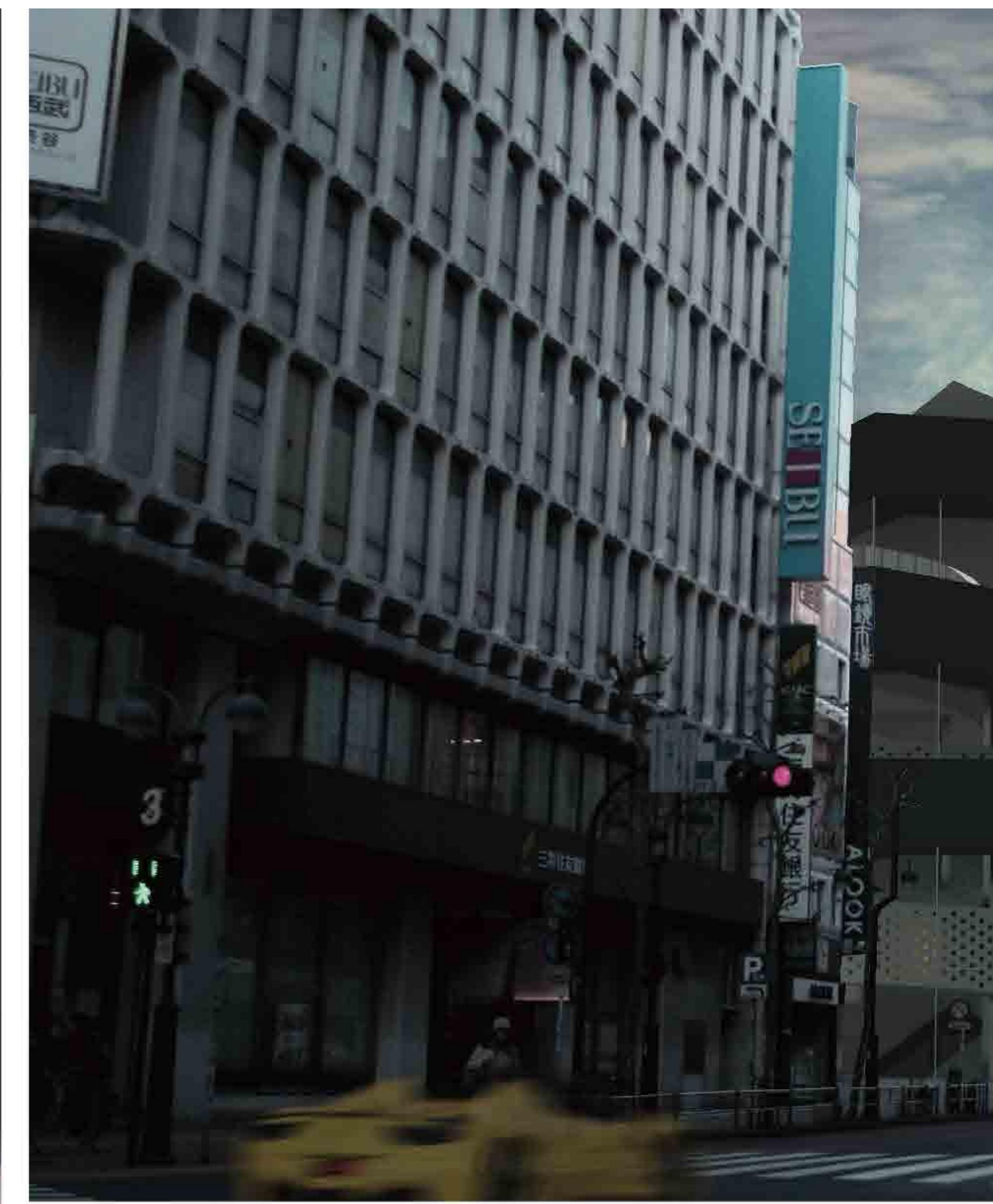
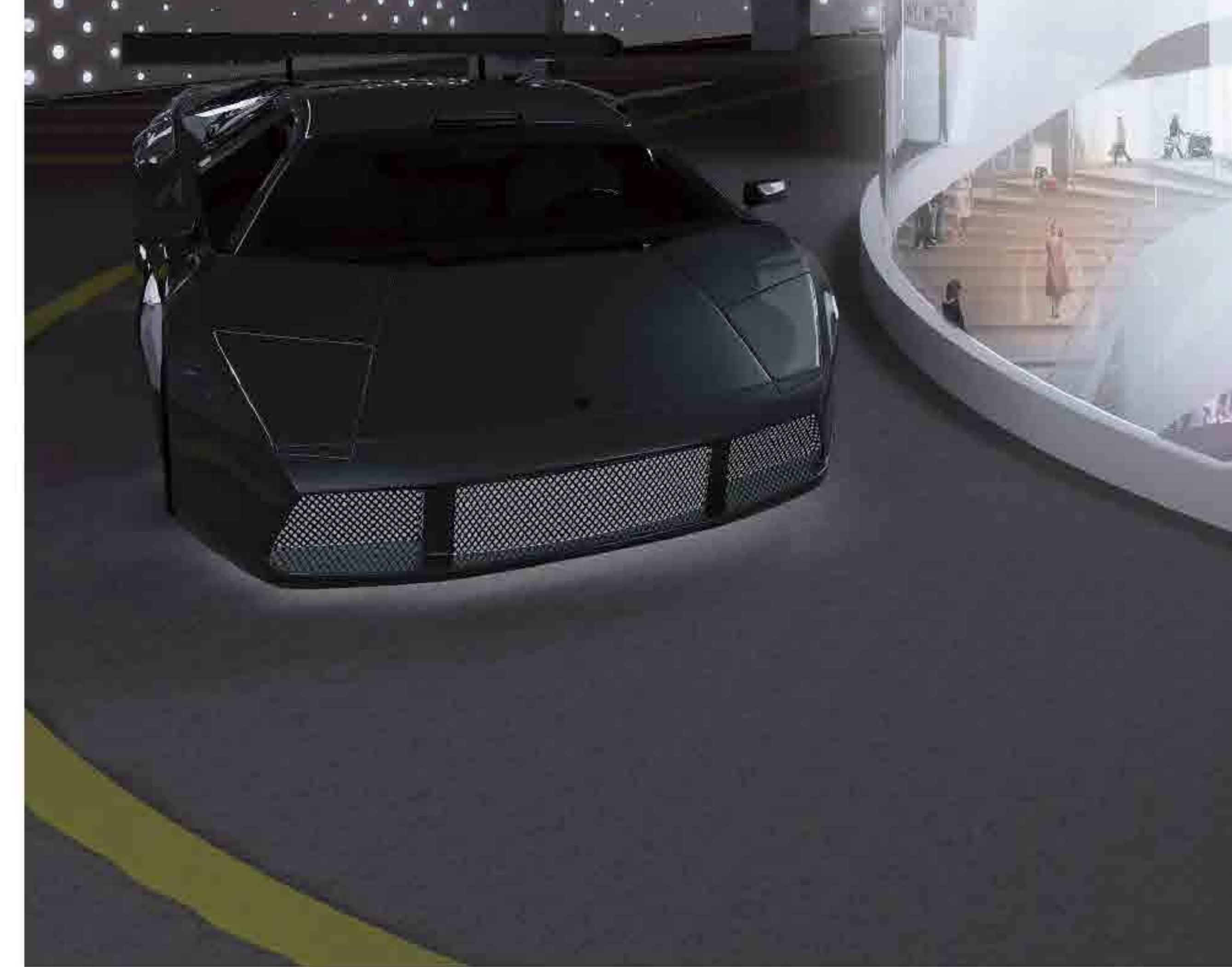


Ouroboros

立体駐車場と商業施設





01 東京オリンピック2020年開催
2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定しました。その先にある都市はどういった姿であるのかを考えました。



03 スポーツや芸術を楽しむ東京へ
東京の公共交通は利便性において世界の大都市と比べ遜色のないものです。しかし、ファッション、美術、音楽、産業イベントなどのエンターテイメントを楽しむ場所があまりなくいまひとつ他の大都市に比べ魅力に欠けます。



05 渋谷の地形と建物
渋谷の名の示すとおり谷であり、すり鉢上の地形が街の特徴であります。河の流れによって生まれたY字に分かれた道が多く点在し、その地形に従って建てられた建築が渋谷に流れをつくりランドマークとして存在しています。



07 主要な周辺道路
敷地は北側に国道246号線と南側に413号線と2つの大きな道路に挟まれた地域に位置しています。



02 東京オリンピック1964
1964年のオリンピック開催に伴い東京では急増した自動車数にどう対処するかが大命題となりました。そのため22路線52kmに及ぶ道路が立体交差と拡幅をキーワードとして整備され世界有数の都市圏機能を獲得しました。



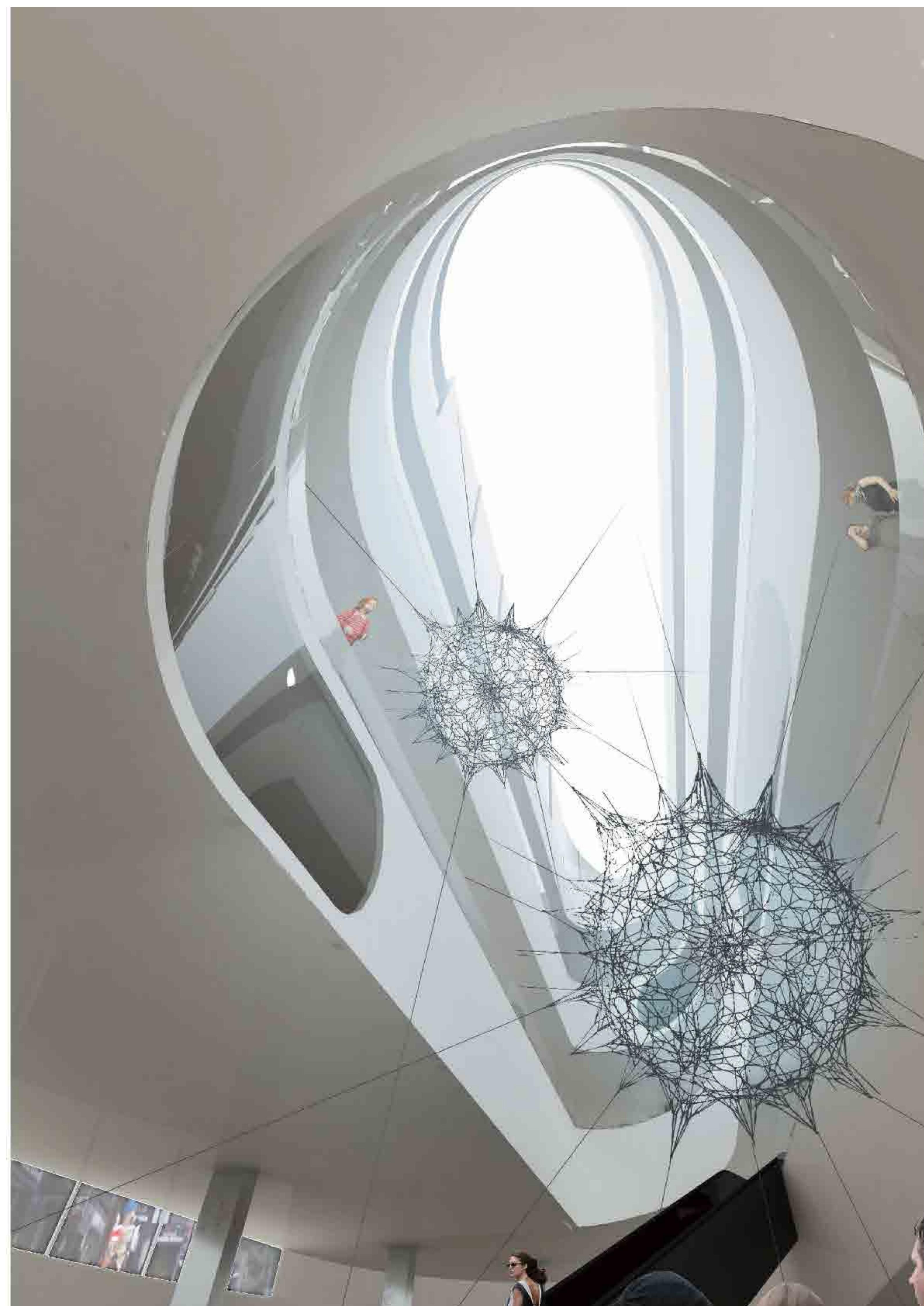
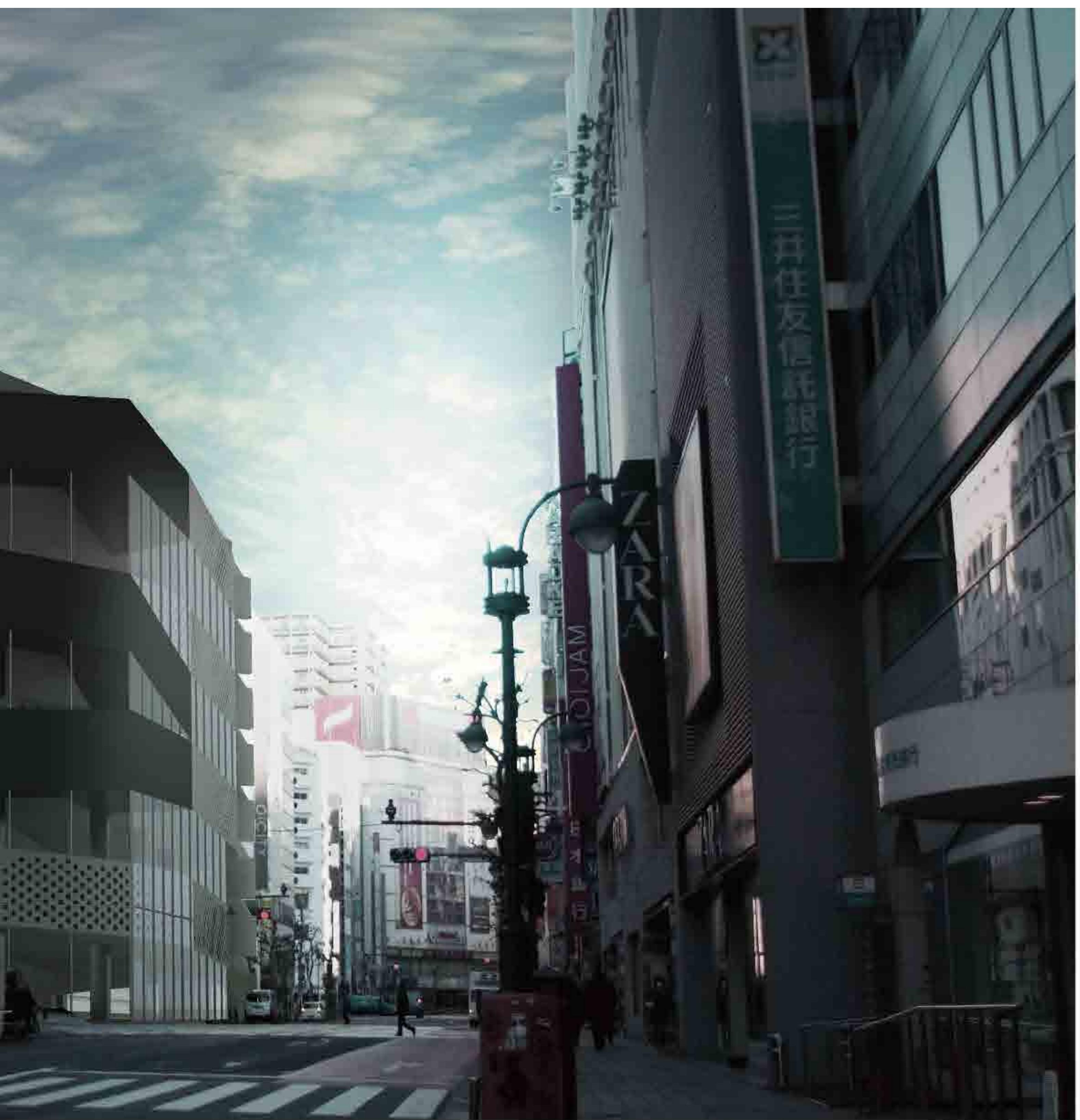
04 ファッションの街、渋谷
渋谷はファッションの街として成長し、若者文化の発信拠点として世界的にも広く知られており、様々な価値観を容容する包容力を持ち合わせています。エンターテイメントを発信する拠点となるボテンシャルがあります。

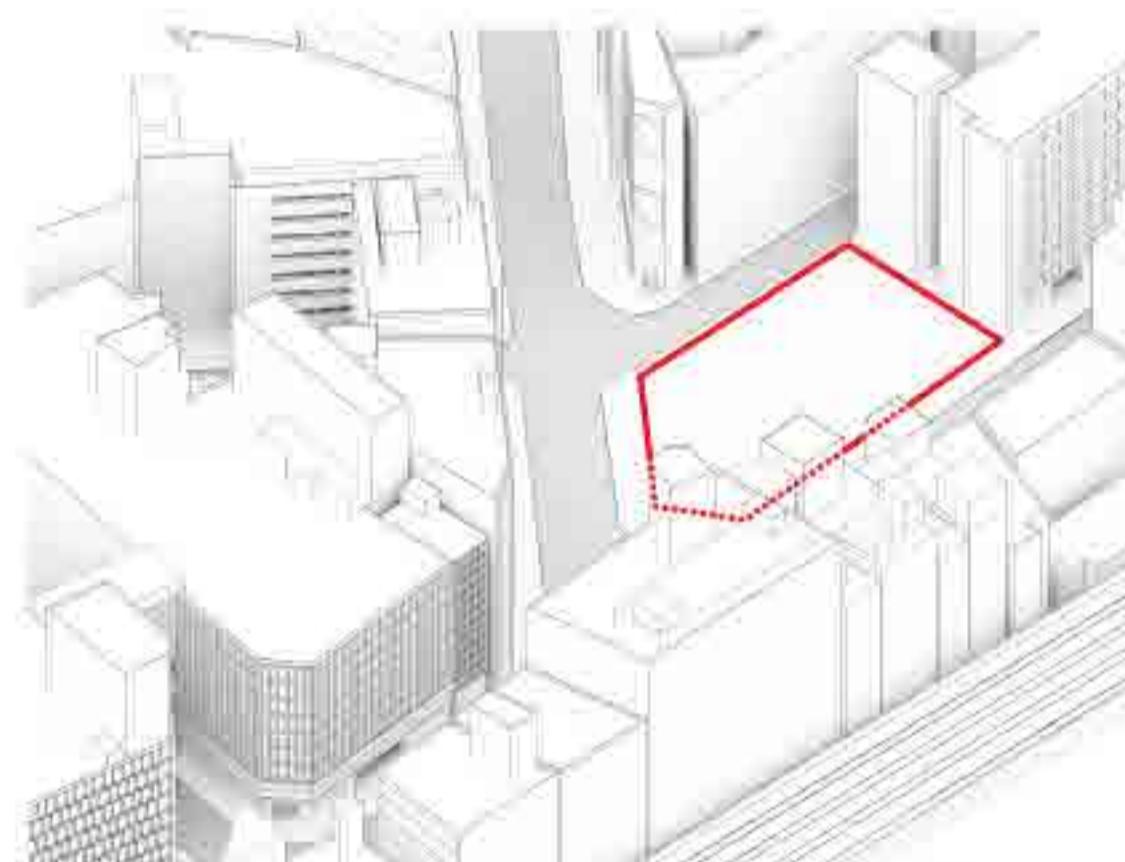


06 世界2位の巨大ターミナル駅
渋谷は、池袋、新宿と並ぶ山手線の巨大ターミナル駅であり、1日に300万人の乗降客数を誇っています。東急電鉄やJR、地下鉄メトロなど計10路線もの路線が集まっています。

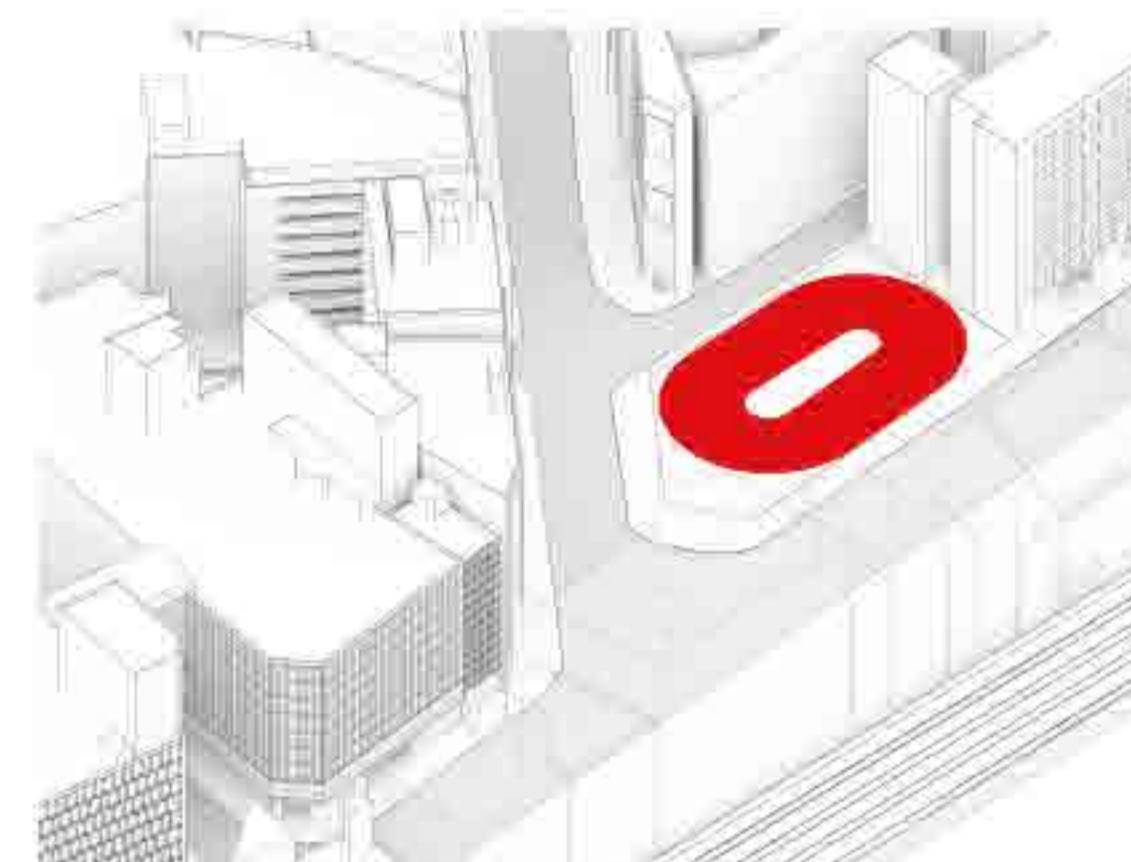


08 アクセス経路
敷地にはこのようなルートでのアクセスが考えられます。

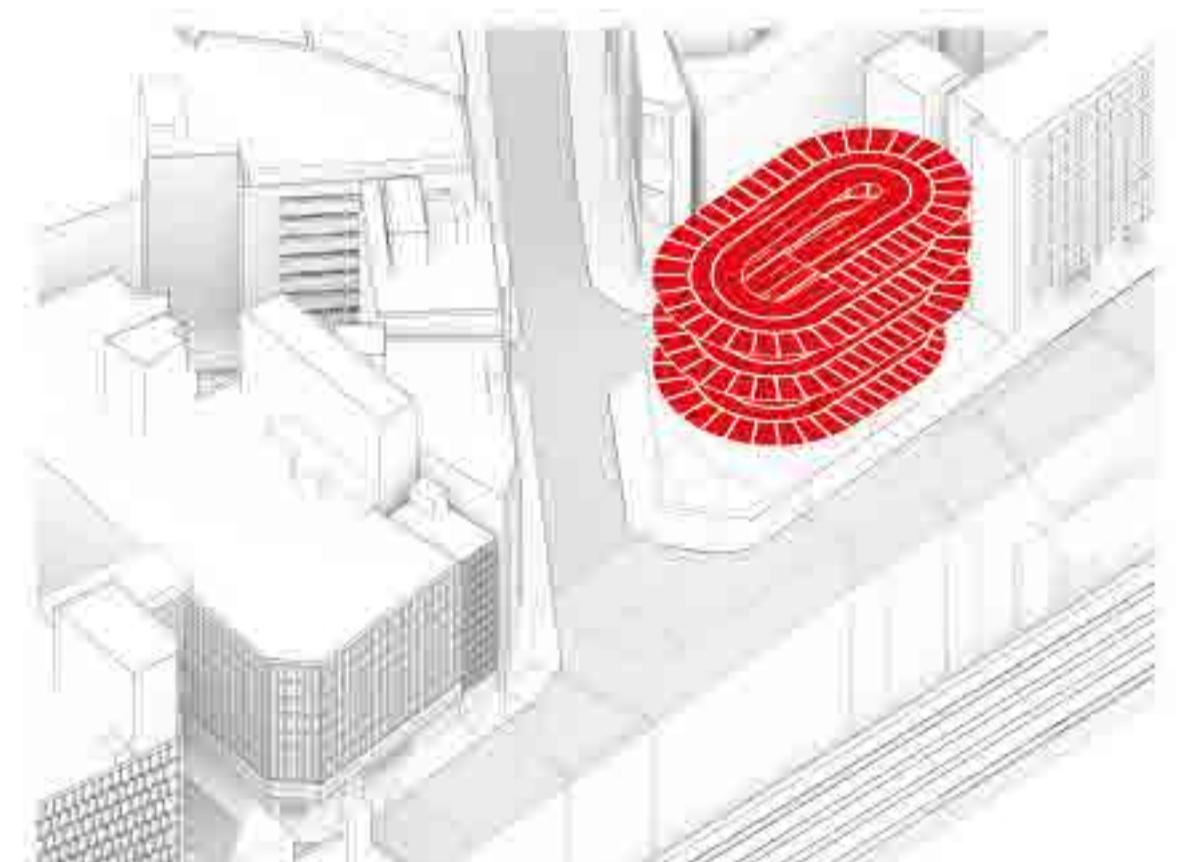




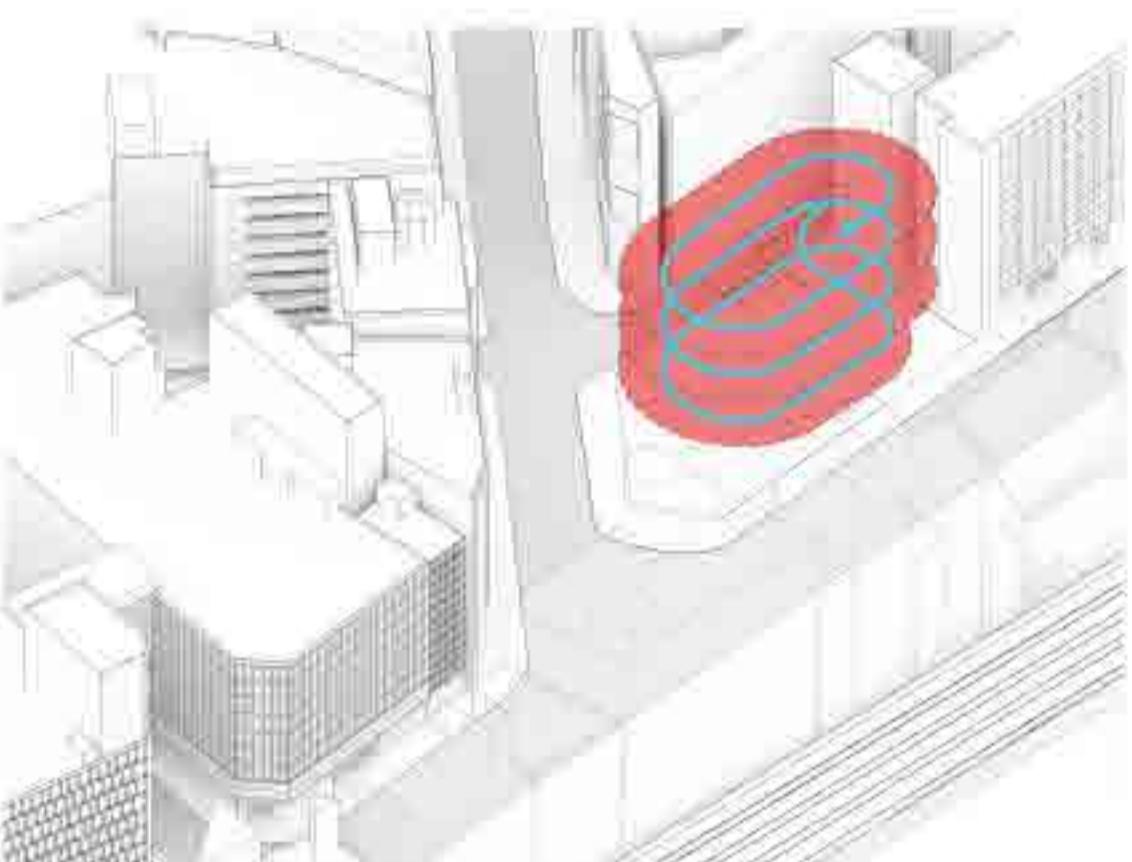
09 敷地のロケーション
敷地は渋谷駅から北へ歩いて4分にところにあるY字路に位置し、NHK方向へと向かう道は大きな坂となっています。その為、敷地前後で3mの高低差が生まれています。もう一本の道は代々木方面へと向かっており幅の広い歩道が設けられ多くの人が移動します。



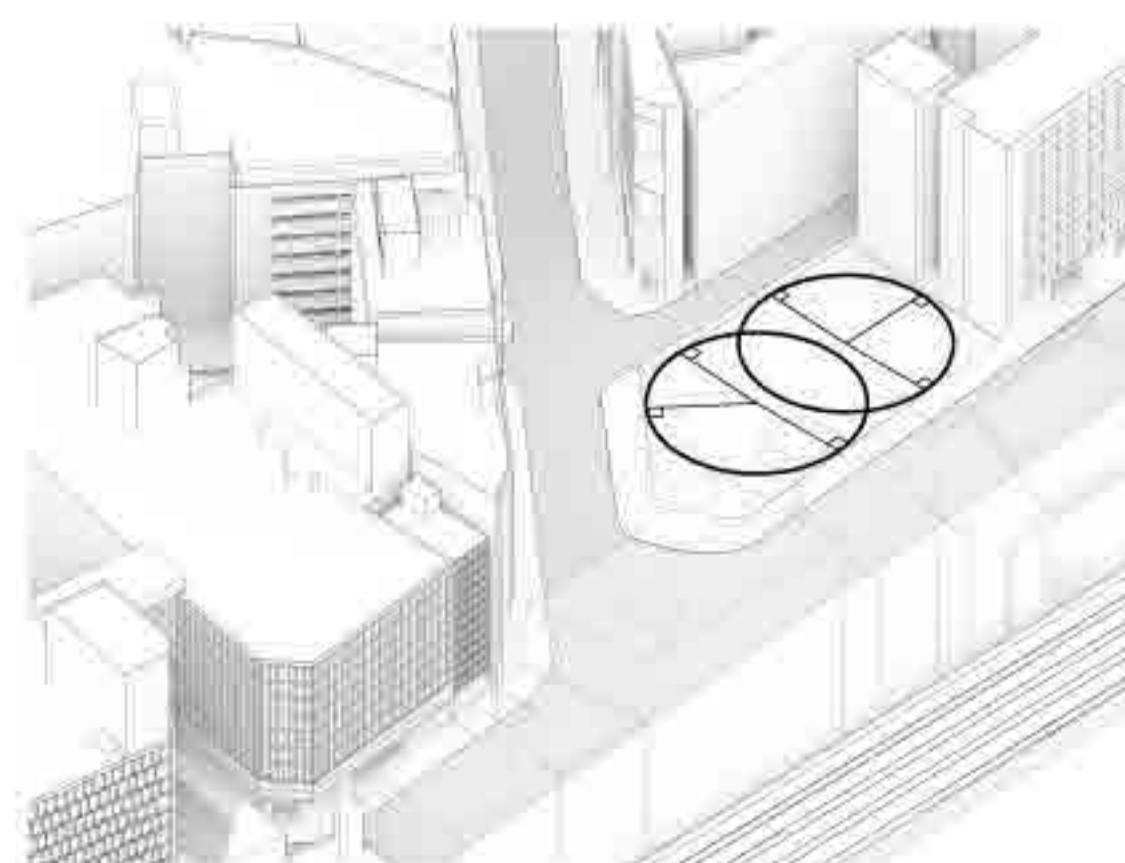
11 ヴォイドとボリューム
2つの円の相似形を縮小し回転最小半径として導線を描くとこのような形になり、中央にはこのような空白が生まれます。



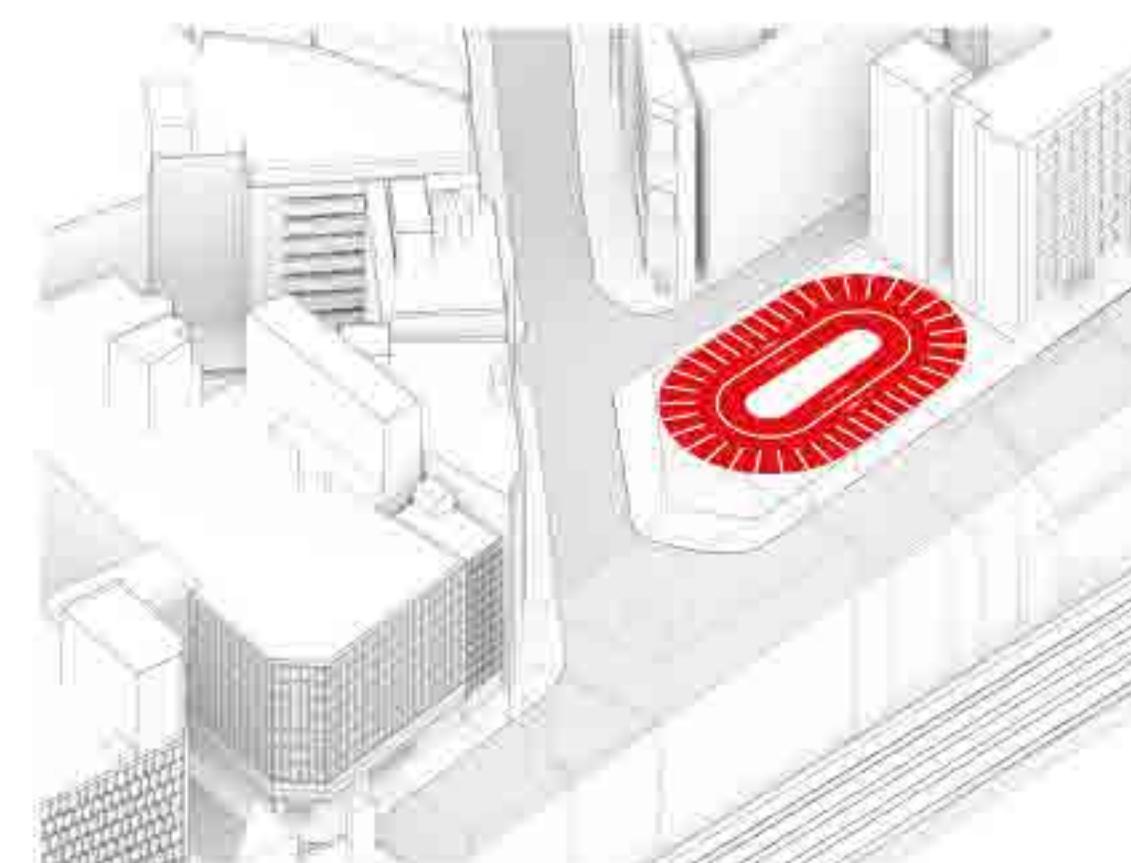
13 螺旋を描きながら昇る駐車場
斜路式駐車場とし、7度勾配で螺旋を描きながら高さ3.2mまで伸ばします。螺旋は4回半ループし計180台の車を収容することができます。



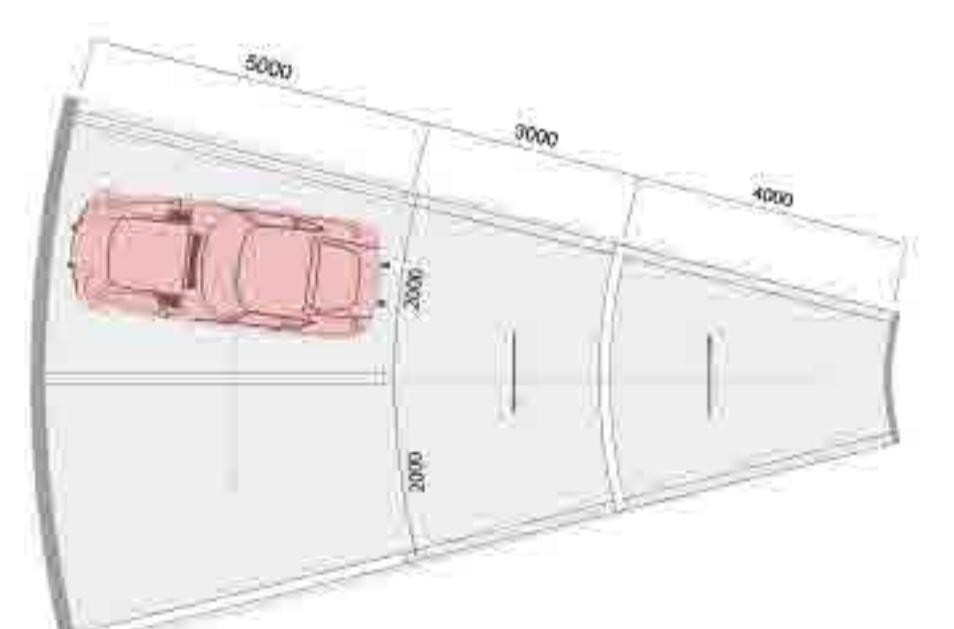
15 進入導線と経路
車は敷地の裏側から入り、そこから螺旋を昇って駐車します。



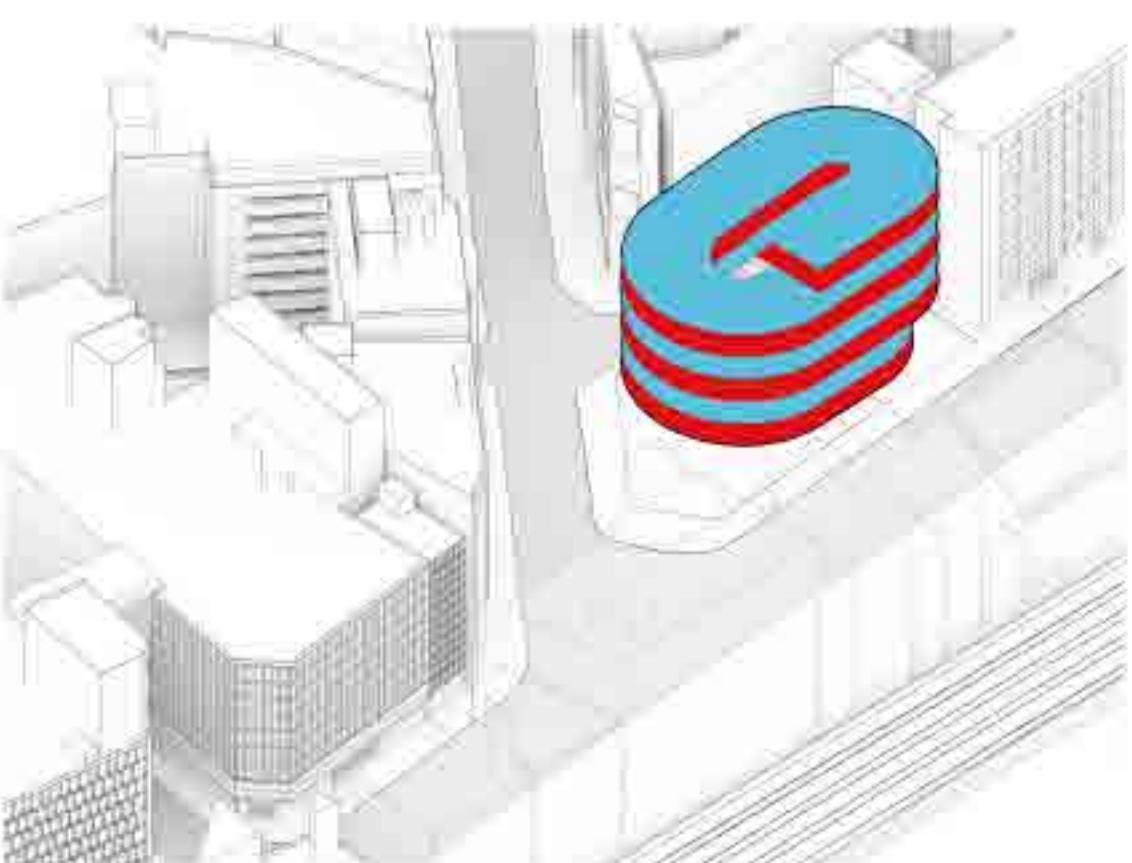
10 2つの円
敷地に対して最大径の円を描きます。



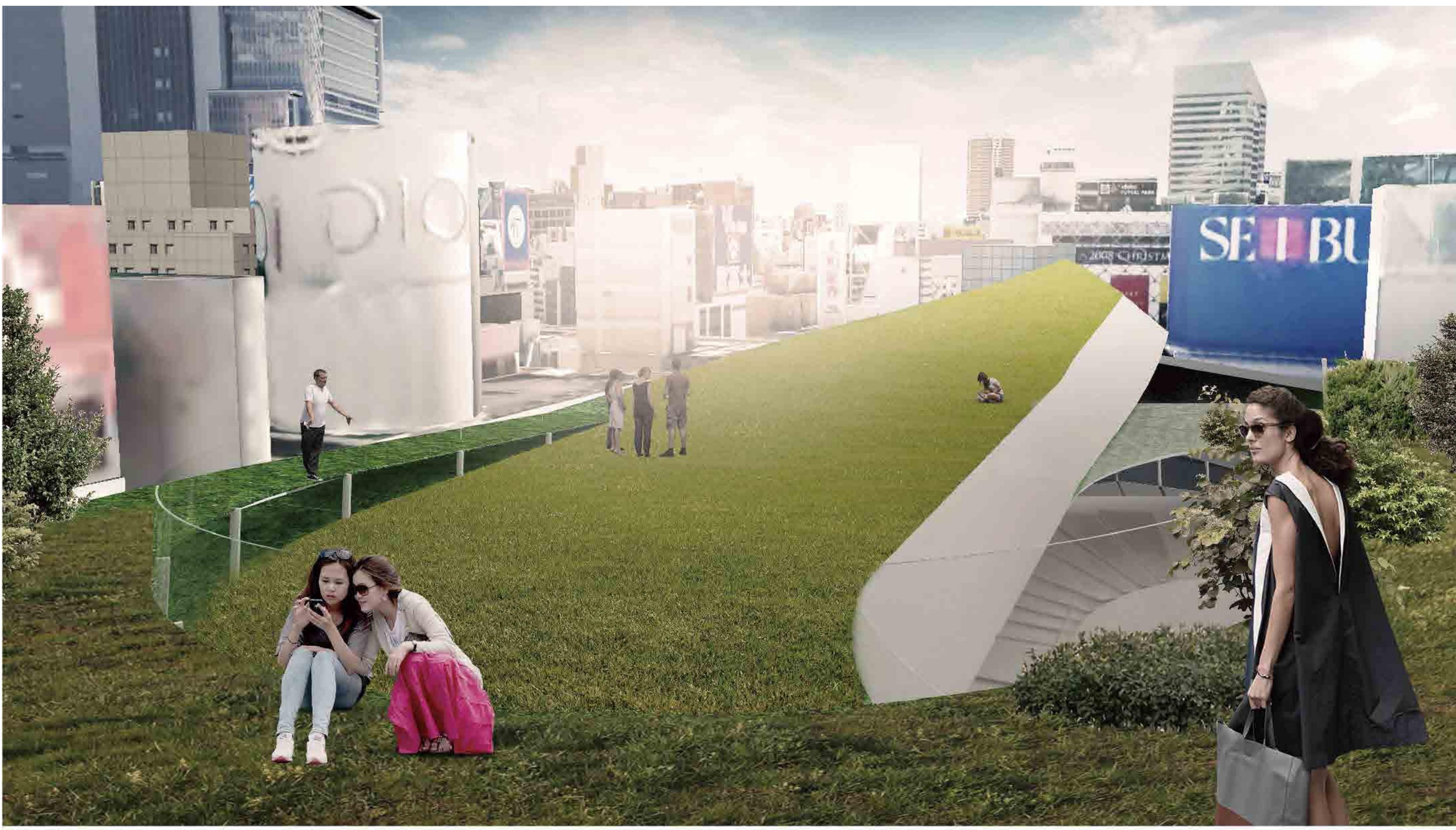
12 駐車場のライン
道路に対して90度の角度で2.5メートル間隔に駐車スペースを作成します。1フロア当たり4台分の駐車スペースが設けられその内側に昇り導線とくだり導線を設けます。

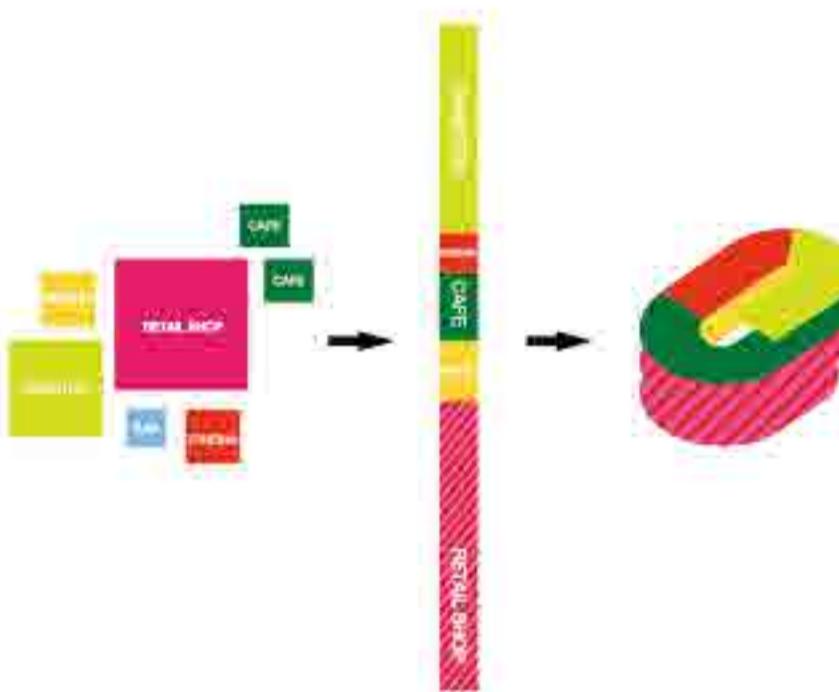


14 駐車スペースと揚車スペース
駐車スペースは2.5mの間隔に5mの奥行きを持って配置されています。内側から4mの幅をもった下り導線、外側に3mの幅を持った昇り導線があります。駐車場は計12mの幅で上まで続きます。



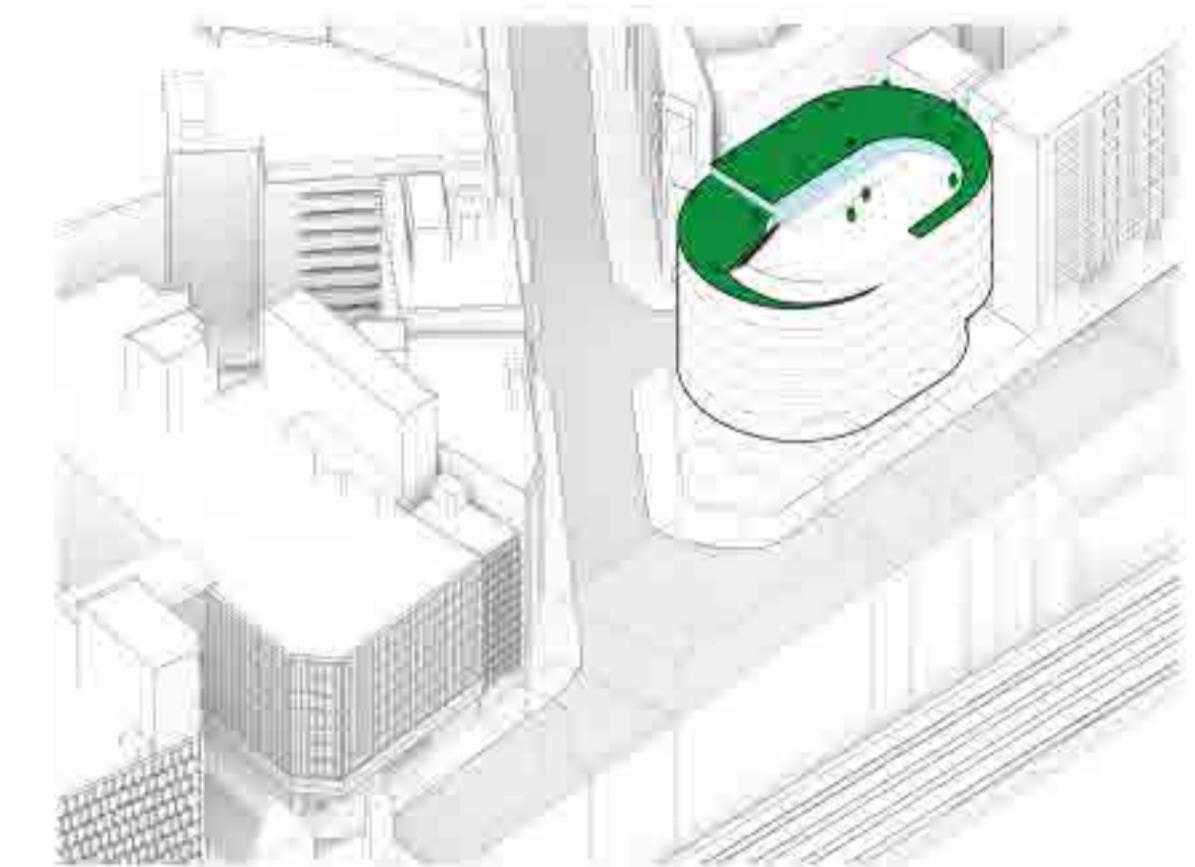
16 もう一つの螺旋の構入
駐車場の螺旋は1ループで8メートル昇り、別のプログラムとしてその間にもう一つの螺旋を挿入します。





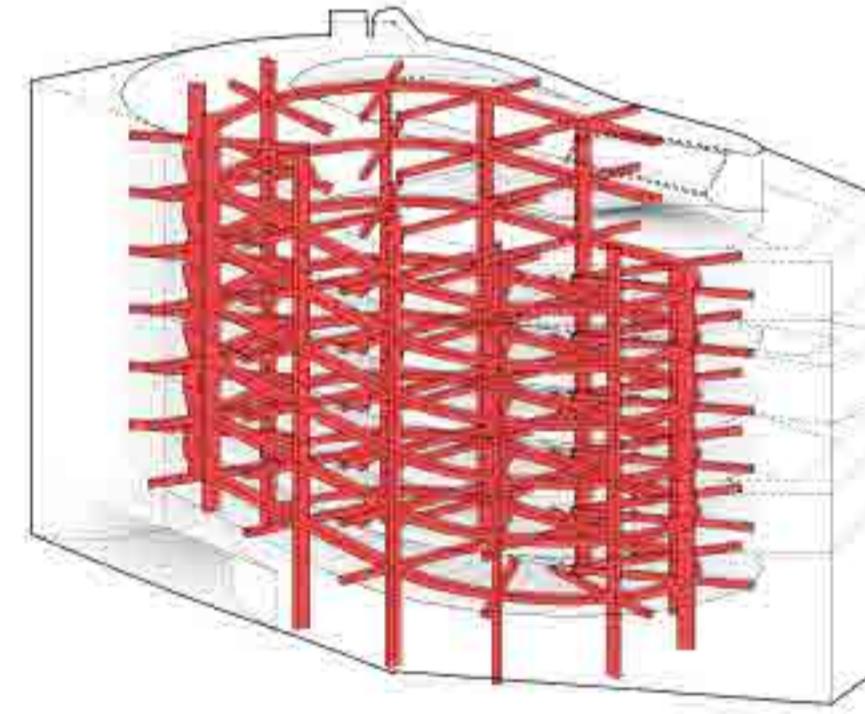
16 らせん形状沿ってプログラムを配置

各プログラムは壁や柱ではなくスロープによって緩やかに分けられます。また螺旋を動きながら回遊することでその動線は内部にたいしてだけでなく、視線を外へと強く惹きつけます。



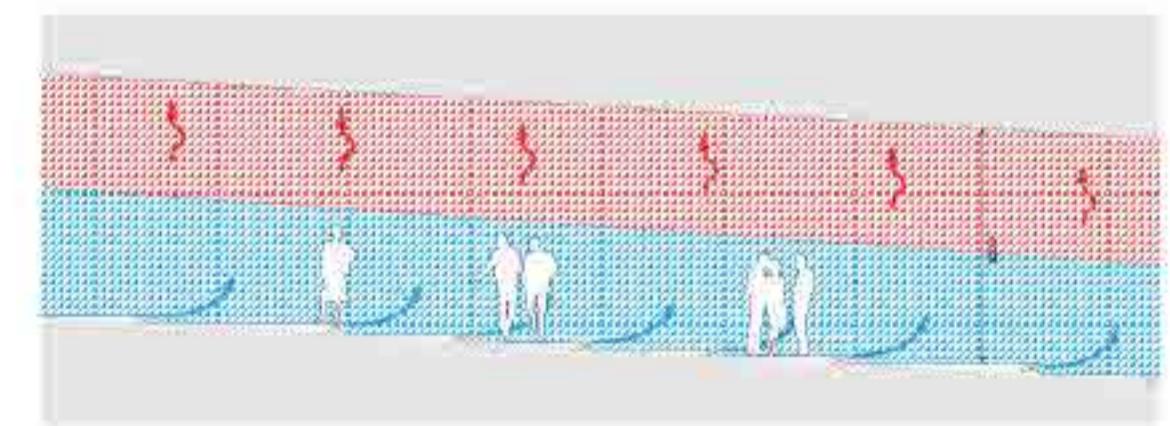
17 もう一つの螺旋の終わり方

一方の螺旋は限界まで上昇すると屋外となり暖昧な終わりを迎えます。強い流れのない大きな屋上庭園となっています。



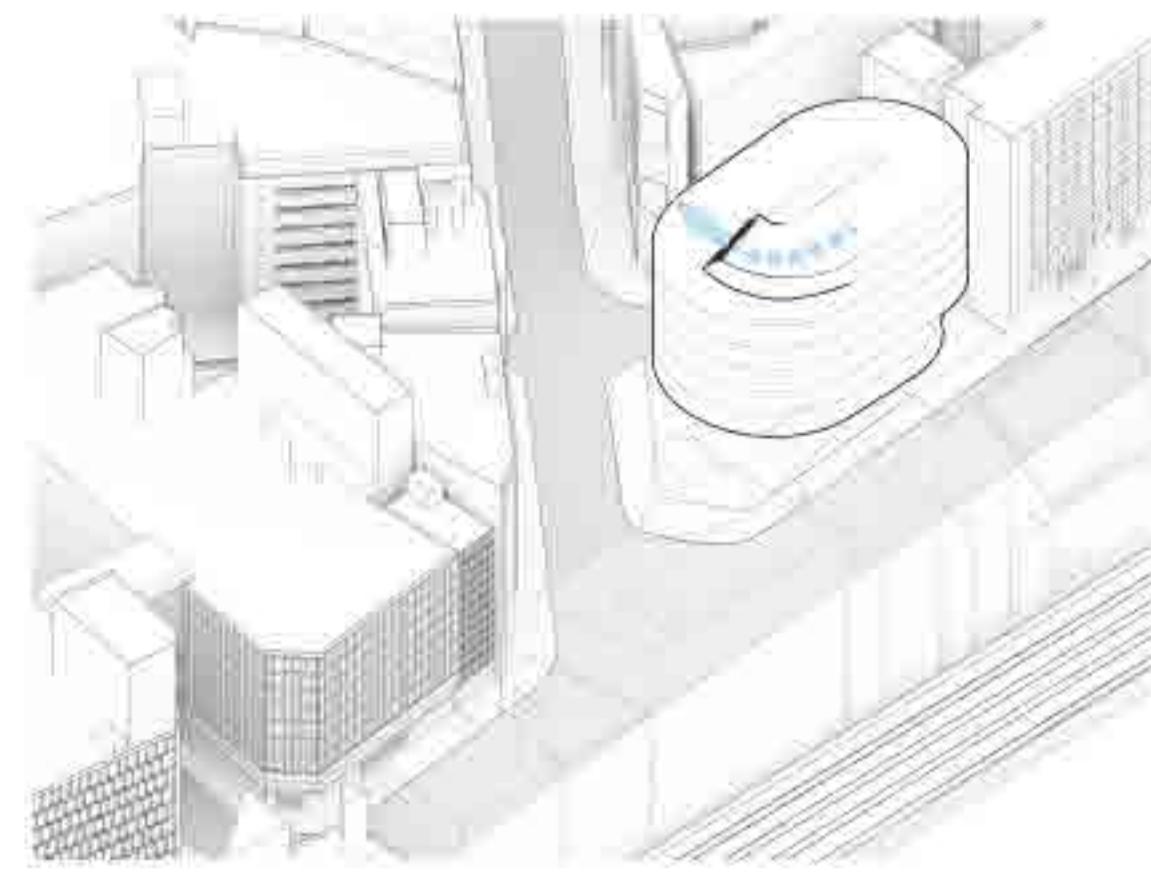
21 構造計画

構造は鉄骨造で螺旋に沿って7m間隔に配置された柱に対し梁を設け、それによってここの螺旋を支持しています。



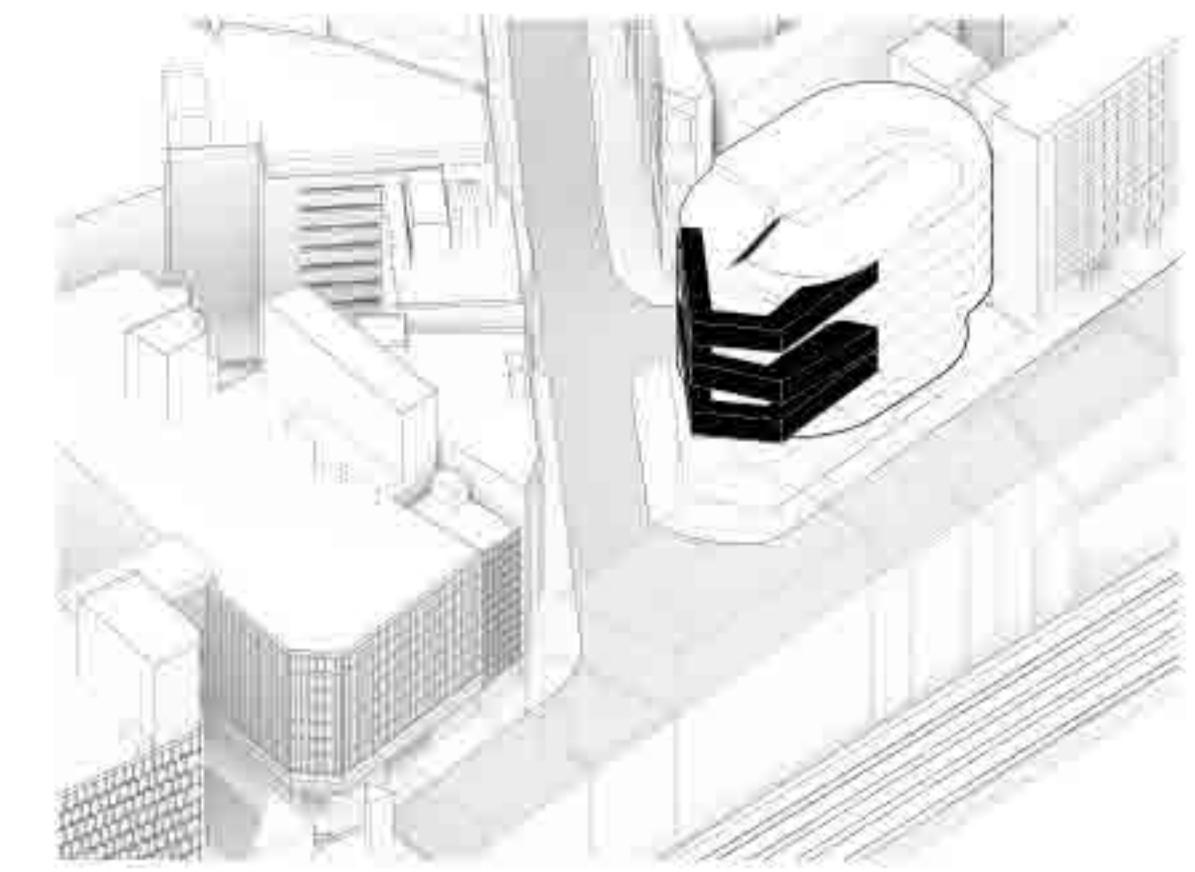
23 設備計画

ステップのしたに空調装置を設け下から上へと空気が循環するようになっています。



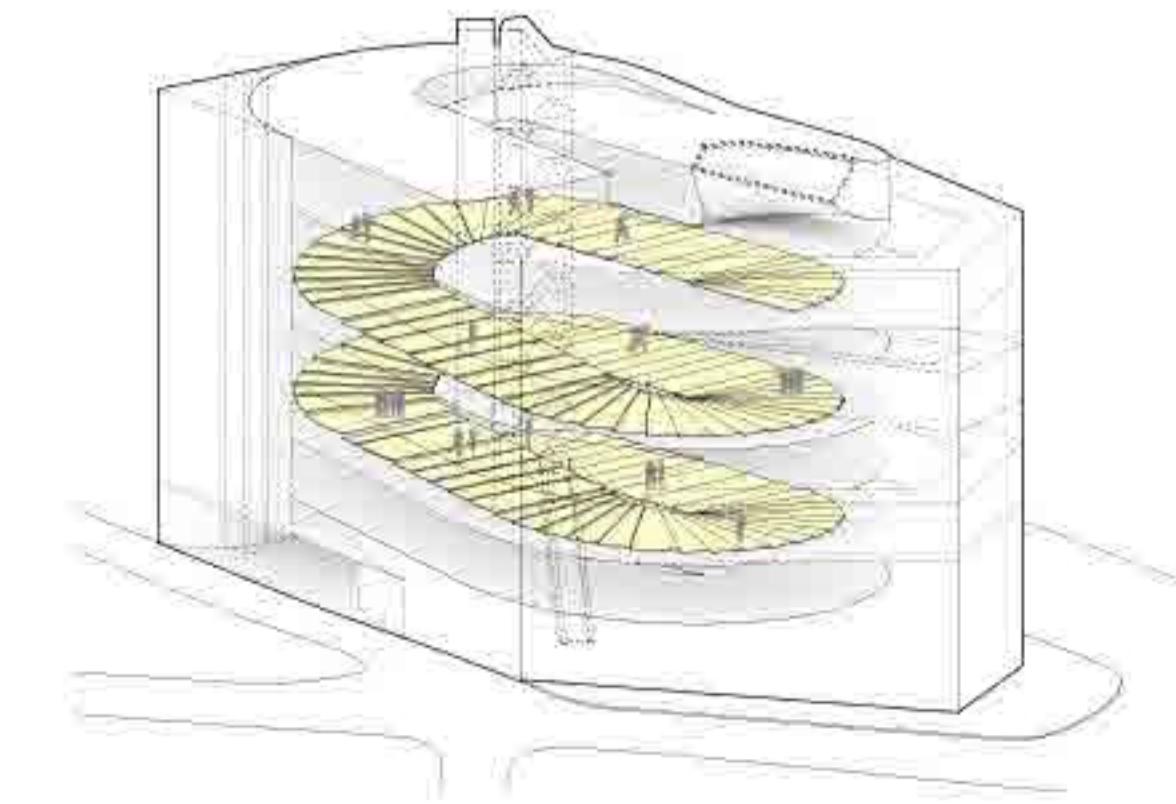
18 車のループの終わり方

駐車場の螺旋は限界まで上昇し、最後は軸方向に垂直に円弧を描きながら上昇します。漢字の跳ねのようなそれは空を写し取るピクチャーウィンドウとなり入ってきた光によって駐車場の終わりを知らせます。



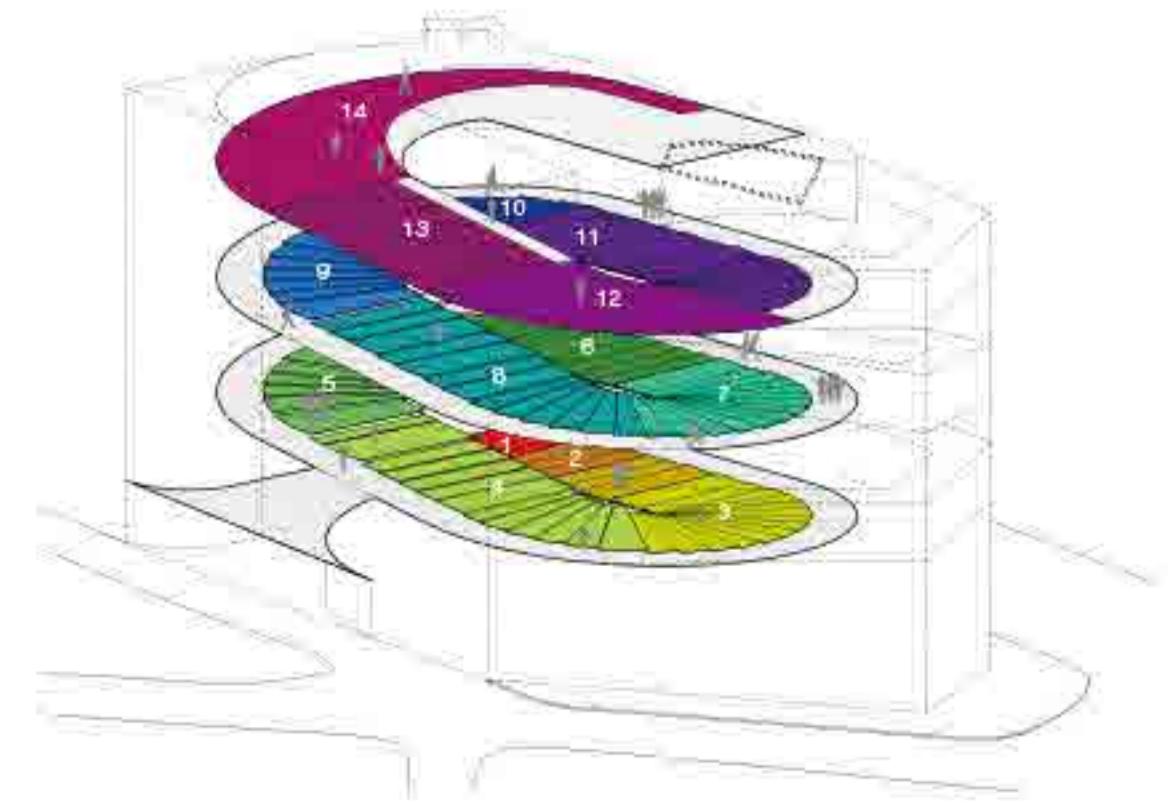
19 跳のようなおおきな導線

建物の前面には通路を内包した大きな跳のようなスロープがついています。それが各階を互い違いにつなぐことで新たな流れを生むとともに建物の印象を決めるファサードとなります。



22 ステップ

プログラムに応じて幅の異なるステップを設けます。ステップの外側に設けられた3m幅の通路スロープで回遊性を確保しながらプログラムを配置することができます。



1 化粧品売り場

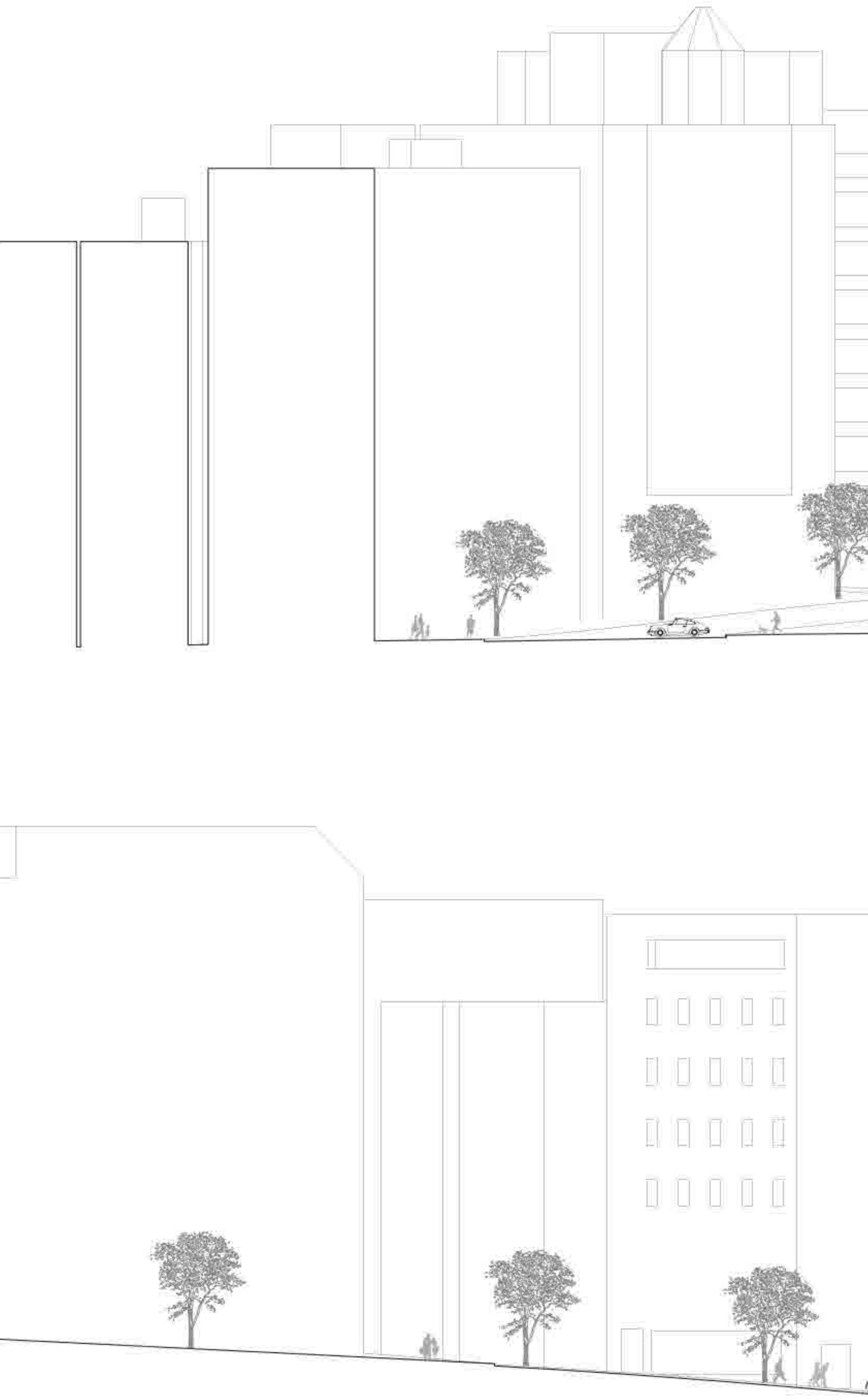
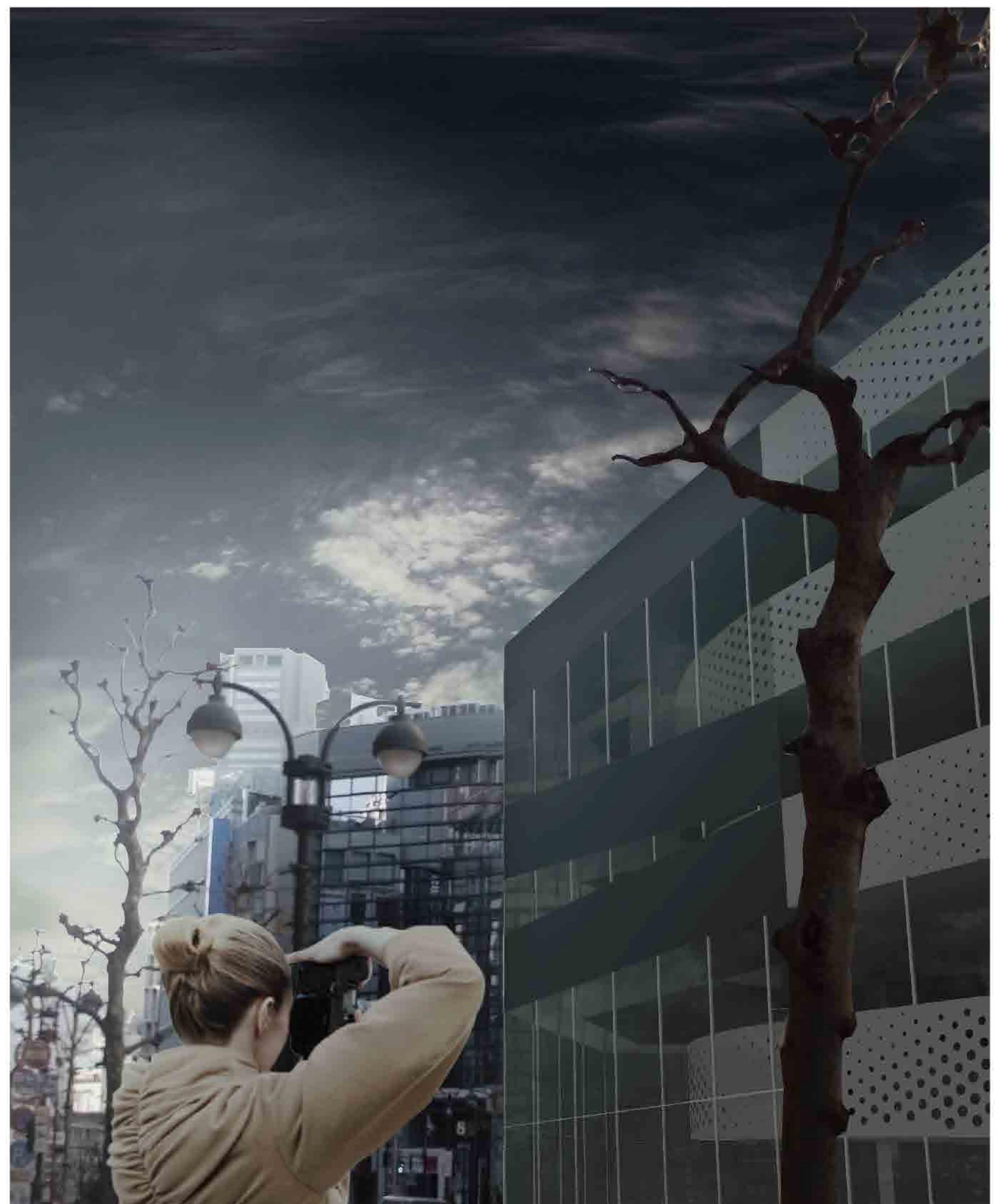
1 婦人服
2 ホール
3 カフェ
4 ホーム
5 婦人服・小物
6 婦人服
7 婦人服・雑貨
8 婦人服
9 ホワイエ

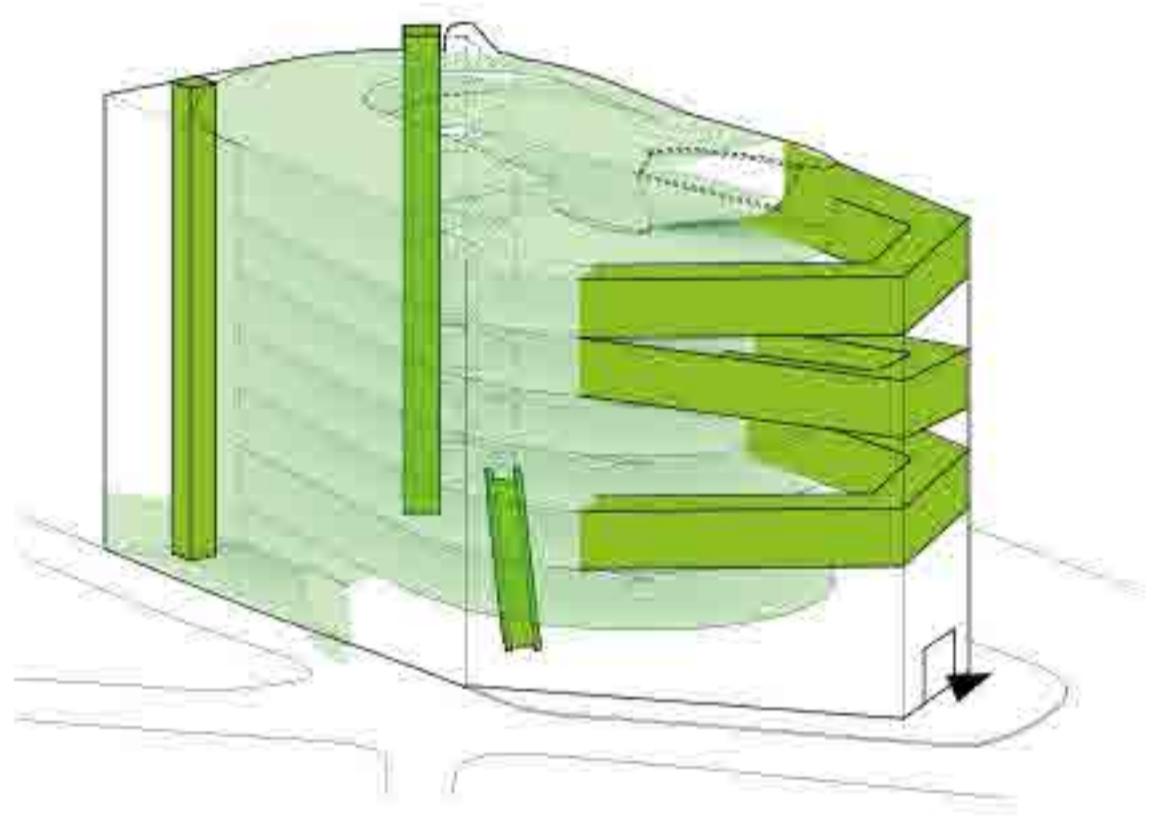
10 紳士服

11 紳士服
12 紳士服
13 紳士服
14 BAR

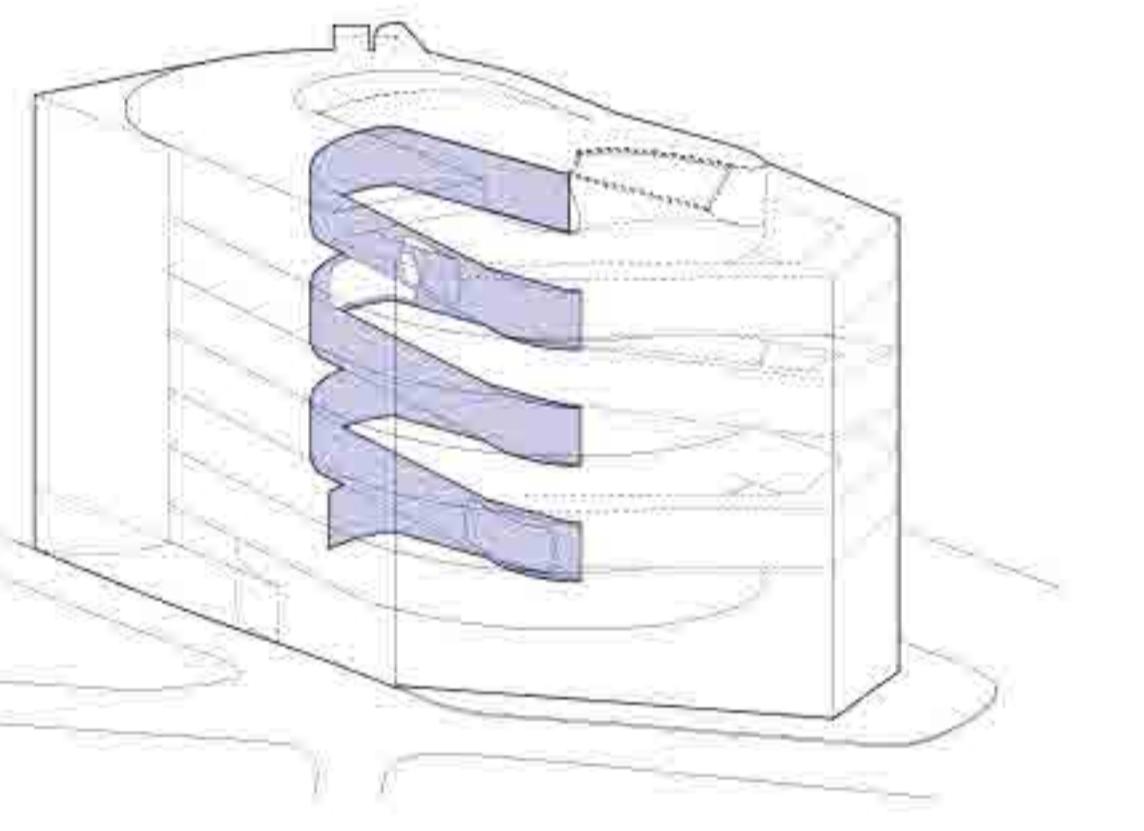
15 映画館

16 BAR

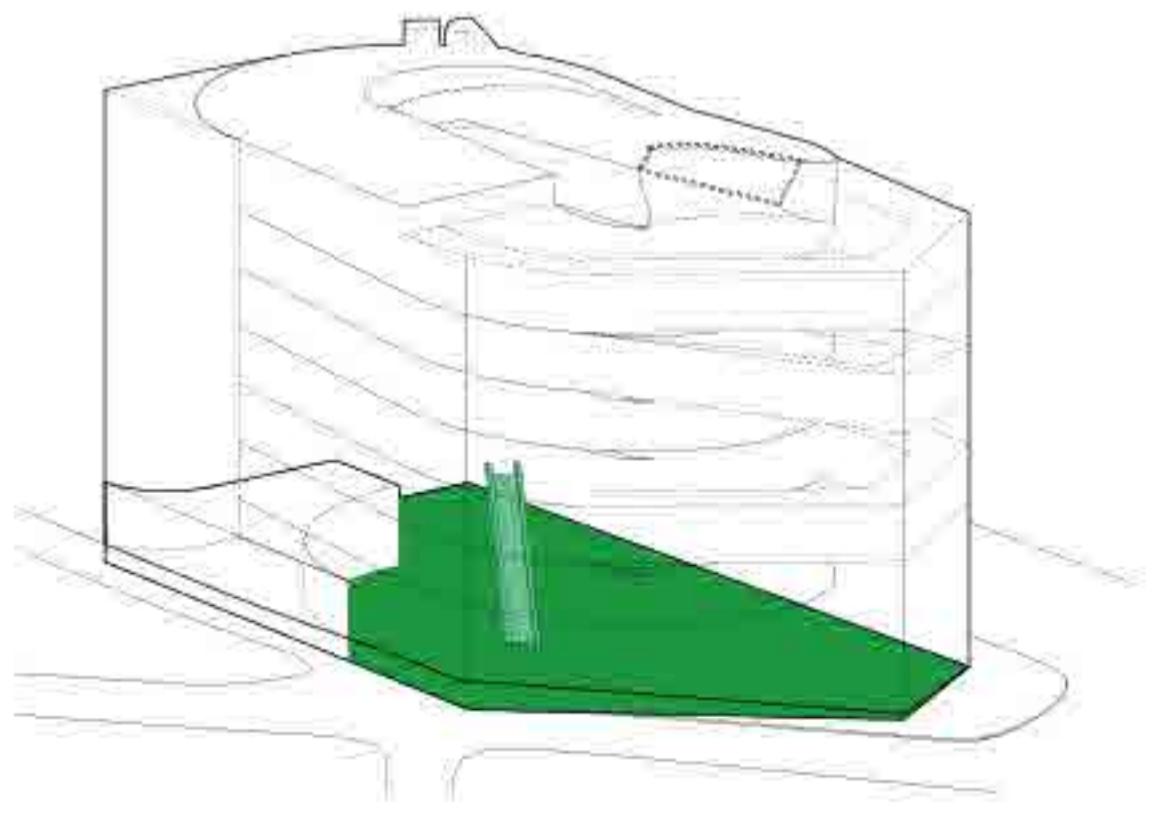




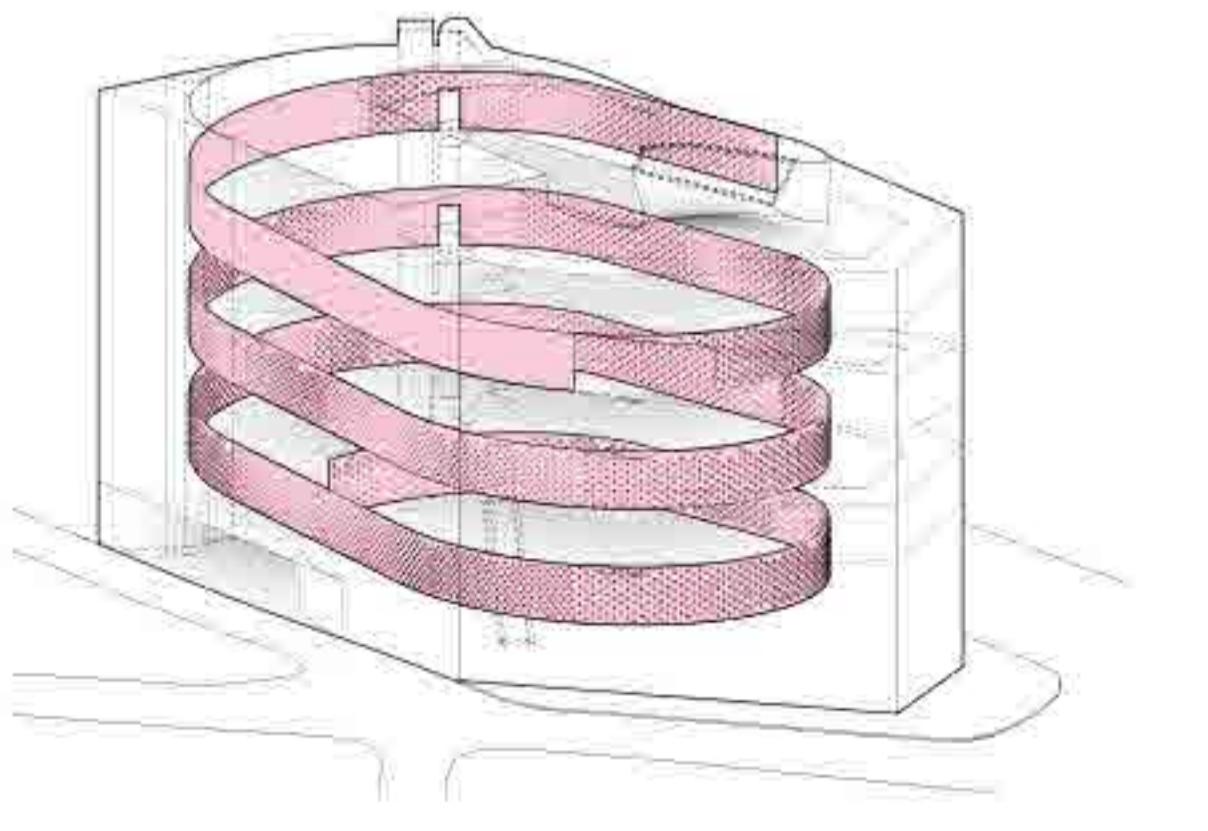
25 サーキュレーション
エレベーターは駐車場の進入口付近にある従業員専用のものとその反対にある2本、グランドフロアから上へつなぐエスカレーターと1本、駐車場ともう一方の螺旋をつなぐ導線が分散されて建物内に配置されています。



27 駐車場と内部をつなぐ壁
内側の壁には内部に向けて穿かれた開口によって、駐車場と他のプログラムはマーブル状になります。

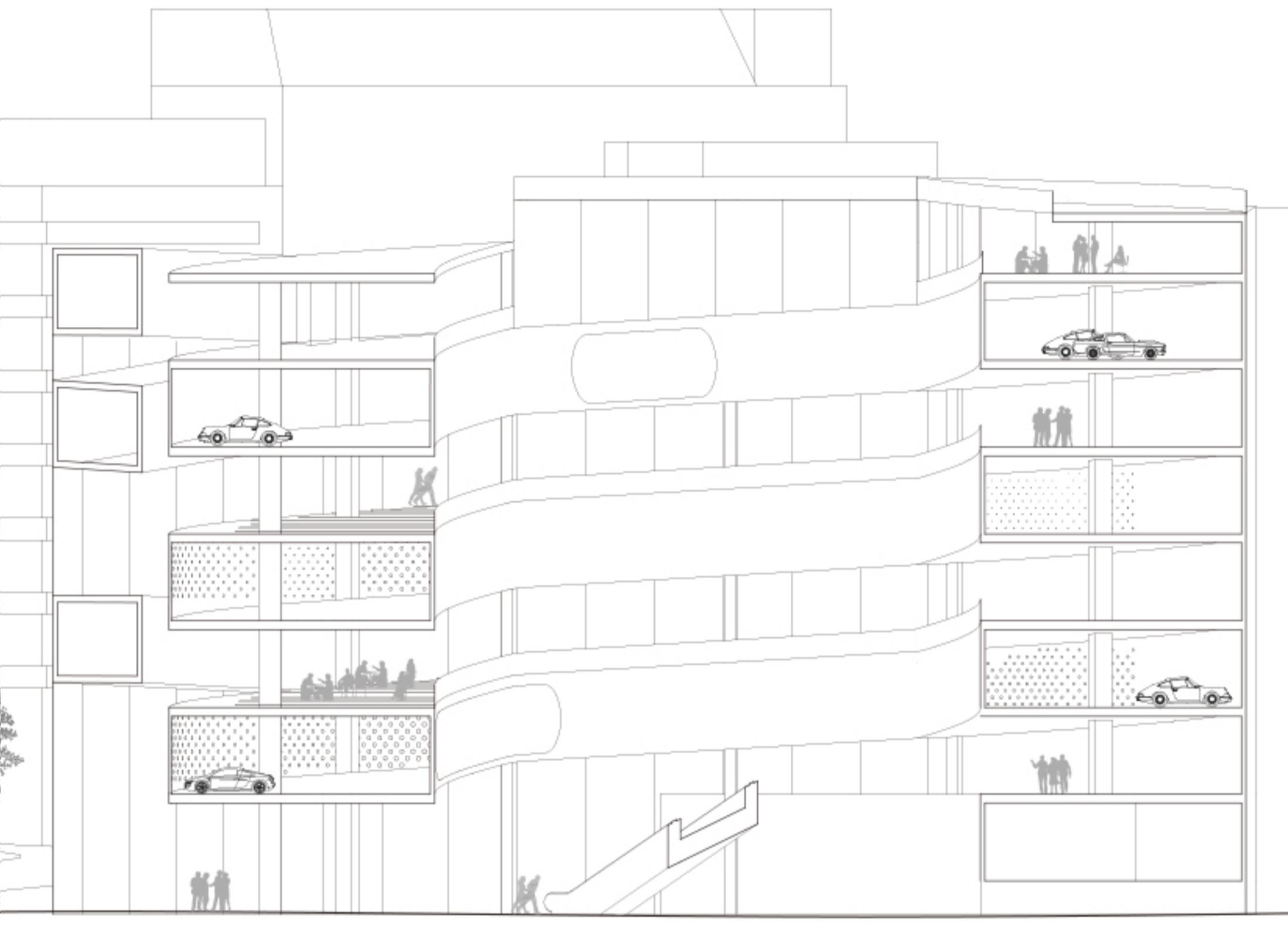


26 エキシビションスペース
1階をエキシビションスペースとすることで買い物目的としている人が上階へと昇り、衝動買いを促す噴水効果が生まれます。

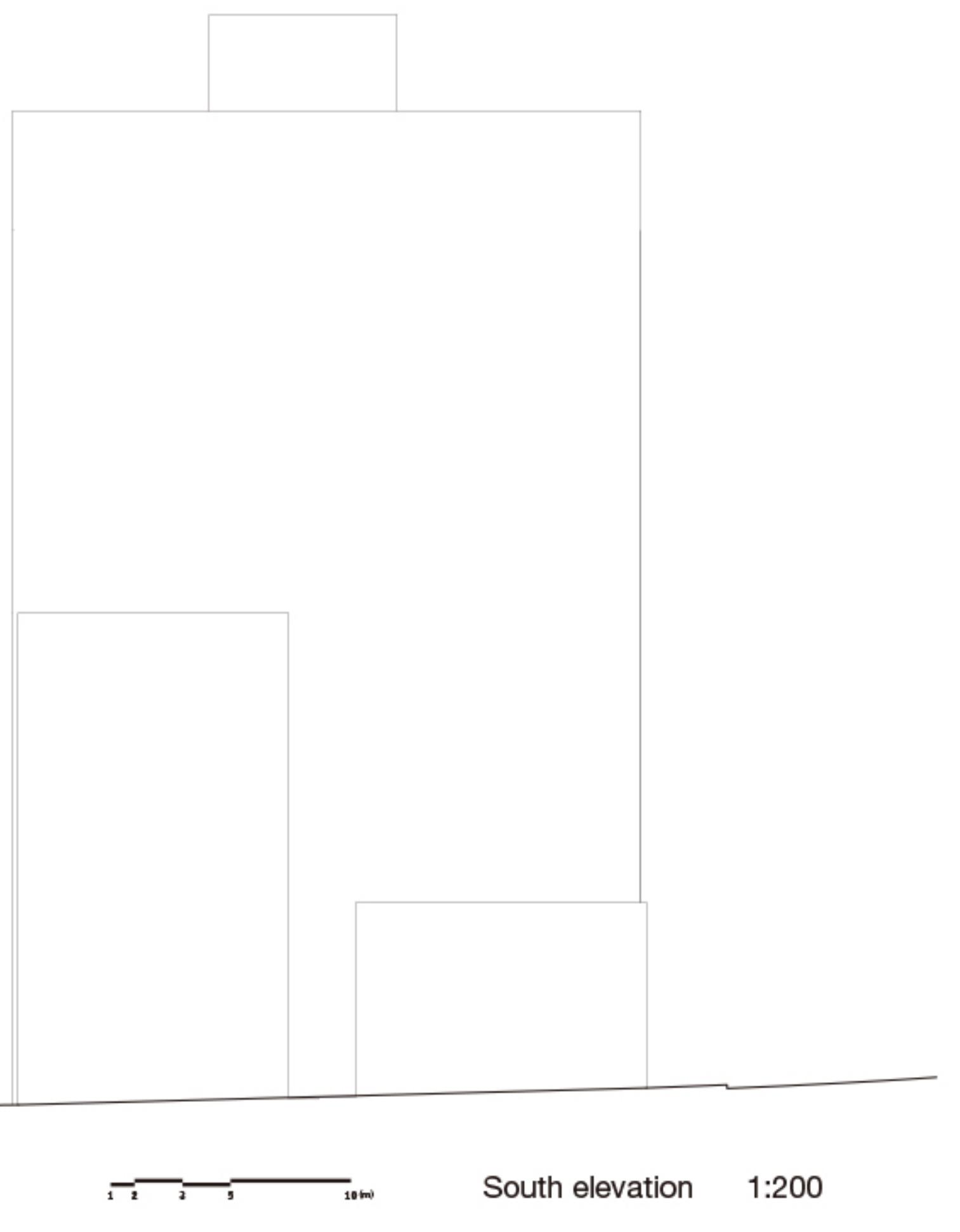


28 外部に向けて動きを発信する外壁
建物の外壁は丸い開口がいくつも穿かれています。開口の大きさの変化が建物に表情を与え、外部に対して間接的に内部の動きを伝えます。





A-A' section 1:200



Shop4(GL+33,000)

Car4 (GL+29,000)

Shop3(GL+25,000)

Car3 (GL+21,000)

Shop2(GL+17,000)

